名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	解剖生理学Ⅱ（Anatomical Physicology Ⅱ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	池田　晋太郎
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	1	曜日・時限	月曜　2限

【授業の学習内容】
鍼灸治療では患者に問診を行い、身体診察を行い、人体に「鍼」と「灸」を用いて施術を行う。その上で人体の形態学・機能学を理解することが、的確な鍼灸臨床には必要となる。本講義では、1・2年次に学習した内容を総復習し、臨床実習・国家試験に向け知識の整理と定着を行う。
※実務経験
鍼灸教員養成課程修了。
鍼灸整骨院にて鍼灸治療に従事し、また登録販売者として医薬品の提案・販売業務にも携わる。

【到達目標】
①各器官の構造を理解・説明ができる。
②各器官の機能を理解・説明ができる。
③各器官とその他の器官系との繋がりや関係性について理解・説明できる。

授業計画・内容	
1回目	呼吸器系の各器官の形態学的構造を理解・説明することができる
2回目	呼吸器系の各器官の生理機能を理解・説明することができる
3回目	呼吸器系の国家試験問題演習を行い、問題解説を理解・説明することができる
4回目	消化器系の各器官の形態学的構造を理解・説明することができる
5回目	消化器系の各器官の生理機能を理解・説明することができる
6回目	消化器系の国家試験問題演習を行い、問題解説を理解・説明することができる
7回目	泌尿器系の各器官の形態学的構造を理解・説明することができる
8回目	泌尿器系の各器官の生理機能を理解・説明することができる
9回目	泌尿器系の国家試験問題演習を行い、問題解説を理解・説明することができる
10回目	循環器系の各器官の形態学的構造を理解・説明することができる
11回目	循環器系の各器官の生理機能を理解・説明することができる
12回目	循環器系の国家試験問題演習を行い、問題解説を理解・説明することができる
13回目	神経系の各器官の形態学的構造を理解・説明することができる
14回目	神経系の各器官の生理機能を理解・説明することができる
15回目	神経系の国家試験問題演習を行い、問題解説を理解・説明することができる

準備学習時間外学習	授業内容に加え、国家試験過去問題集の自己学習が必須。		
評価方法	1. 定期試験（80%） 2. 小テスト（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	定期試験を100点満点で80%の評価、毎授業時に実施する小テスト20%として成績評価とする。
受講生へのメッセージ	解剖学と生理学は、医学の基礎的分野を担います。人体の構造や機能、機序をきちんと理解しなければ、生体機能の異常である「疾患」を理解できず、臨床系科目にも影響していきます。授業時だけでなく、自身で先行して国家試験過去問集などに取り組みましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：解剖学第2版（医歯薬出版株式会社）
　　生理学第3版（医歯薬出版株式会社）

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	臨床医学各論Ⅱ（Clinical Mwdicine Itemized discussionⅡ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	梅村　勇介
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	Ⅰ部				1	曜日・時限	金曜日　1限

【授業の学習内容】

臨床活動を行う上で必要である「疾患」に関する知識を、現代医学的な観点から理解する事を目的とする授業である。これは病態の把握や鍼灸治療の不適応疾患の鑑別はもちろん、予後の推察や他の医療機関との情報交換を行う際に必要なものであり、鍼灸臨床で診る機会が少ない分野の疾患も含め、広く疾患に関する知識を習得することがこれからの鍼灸師に求められている。
実務者経験：大学院（鍼灸学博士前期（修士）課程修了）大学院では、筋肉の痛みとトリガーポイントについて臨床・研究を行っていた。
SoAir鍼灸院岡町にて臨床に関わる。

【到達目標】

臨床では様々な疾患に直面する。その際にレッドフラッグ、イエローフラッグをしっかり見極める知識が必要である。基礎分野を理解し疾病の病因病機を理解し説明できるようになる。
［具体的な到達目標］
目標①各疾患に対して説明ができるようにする。
目標②各疾患を持つ特徴を理解し鍼灸治療の適応・不適応を判断できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	血液・造血器疾患①　血球・血漿の働きを説明できる
2回目	血液・造血器疾患②　赤血球疾患を説明できる①
3回目	血液・造血器疾患③　赤血球疾患を説明できる②
4回目	血液・造血器疾患④　白血球疾患を説明できる
5回目	血液・造血器疾患⑤　リンパ網内系疾患を説明できる
6回目	神経疾患⑤　髄膜炎を説明できる
7回目	神経疾患⑥　認知症性疾患を説明できる
8回目	神経疾患⑦　末梢神経性疾患を説明できる
9回目	神経疾患⑧　神経痛を説明できる
10回目	内分泌疾患①　下垂体疾患について説明できる
11回目	内分泌疾患②　甲状腺疾患について説明できる
12回目	内分泌疾患③　副腎疾患について説明できる
13回目	代謝・栄養疾患①　糖代謝異常、脂質代謝異常について説明できる
14回目	代謝・栄養疾患②　尿酸代謝異常、その他の代謝異常症を説明できる
15回目	まとめ
準備学習時間外学習	この授業を受けるには、解剖学、生理学、病理学などの基礎医学の理解が必要です。これらの予習を行い授業に臨むようにして下さい。また、理解を深めるために、復習を欠かさないで下さい。
評価方法	1. 定期試験（60%） 2. 小テスト（40%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 ・平常点（40%）【各単元終了時の小テスト（30%）出席点（10%）】
受講生へのメッセージ	疾患の成り立ちには、基礎医学をしっかり身につける必要があります。基礎医学を振り返り疾患の病因病機を考えられるようになる授業展開をしていきます。暗記するのではなく、イメージを膨らませ、考えれるように一緒に取り組みましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

臨床医学各論教科書、臨床医学各論追加資料、解剖学教科書、生理学教科書、入門解剖人体解剖学、配布プリント

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	リハビリテーション医学（ Rehabilitation Medicine ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	早野　徳俊
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前・後期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	2	曜日・時限	木曜日　2限

【授業の学習内容】

リハビリテーション医療は多職種に支えられ、様々な専門領域にリハビリテーション医学が活用されている。患者の運動機能や日常生活活動の能力の障害を回復に導き、社会・環境への適応を促進するには本人・家族を含めた多くの人々の知恵と努力が必要となる。これらを習得することで、鍼灸臨床の幅を広げることができる。またリハビリテーションの理念と知識・技術を学ぶことで障害者の社会参加を援助し、豊かな社会つくりに役立つ体系を学び、社会に貢献することができる。
※実務経験：教員養成課程修了。
2003年から臨床に携わり東洋医学療法の一つ「経絡治療」で運動器疾患をはじめ内科婦人科疾患も扱う。

【到達目標】

リハビリテーションの概念を理解し、リハビリテーションとは何か、手段、実施時期、各評価について理解できる。また、各疾患に対して、疾患把握、評価、リハビリテーション手段などが習得する。
正常運動構造・機能を学ぶことで、疾患における変化をキャッチできる手段を習得する。

授業計画・内容			
1回目	リハビリテーション総説が理解できる。	16回目	小児のリハビリテーションが理解できる。
2回目	リハビリテーションと障害が理解できる。	17回目	骨関節疾患のリハビリテーションが理解できる。
3回目	リハビリテーション医学と医療が理解できる。	18回目	関節リウマチのリハビリテーションが理解できる。
4回目	リハビリテーション医学とチームアプローチが理解	19回目	末梢神経障害のリハビリテーションが理解できる。
5回目	地域ケアと地域リハビリテーションが理解できる。	20回目	パーキンソン病のリハビリテーションが理解できる。
6回目	心身機能・身体構造の評価ができる。	21回目	呼吸器疾患のリハビリテーションが理解できる。
7回目	活動の評価ができる。	22回目	心疾患のリハビリテーションが理解できる。
8回目	参加の評価ができる。	23回目	運動学の基礎が理解できる。
9回目	合併症、運動麻痺の評価ができる。	24回目	脊柱・体幹の機能、肩甲帯・肩の機能が理解できる。
10回目	運動年齢テスト、高次脳機能評価ができる。	25回目	肘と前腕の機能、手と手指の機能が理解できる。
11回目	医学的リハビリテーションが理解できる。	26回目	骨盤と股関節の機能が理解できる。
12回目	脳卒中のリハビリテーションが理解できる。	27回目	膝関節の機能が理解できる。
13回目	脊髄損傷のリハビリテーションが理解できる。	28回目	足の機能が理解できる。
14回目	切断のリハビリテーションが理解できる。	29回目	正常歩行と異常歩行が理解できる。
15回目	総復習	30回目	総復習

準備学習時間外学習	リハビリテーションの概念と役割を学びます。リハビリテーションの要点を理解するには、人体への影響を考え、解剖学、生理学、臨床医学各論・総論との関わりが必要となります。よって、それらの科目の予習及び復習を必要とします。		
評価方法	1. 定期試験（80%） 2. 小テスト等（20%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	定期試験80%および小テストを含む平常点20%　で評価します
受講生へのメッセージ	リハビリテーション医学は様々な専門領域に活用されている。我々鍼灸師も理念と知識と技術を学ぶことで患者状態の把握につながり、また回復状況を周知することができる。物理学知識も必要な面があり、難しい部分もあるが、鍼灸臨床応用内でも利用できることは多々ある。患者状態把握に結び付けよりよい鍼灸治療に役立てられるよう頑張って下さい。		

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：土井信之他著：リハビリテーション医学第4版．医歯薬出版
参考書：落合慈之監修：リハビリテーションビジュアルブック第2版．学研メディカル秀潤社

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	関係法規（Regulations）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	遠藤　久子
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	Ⅰ部				1	曜日・時限	月曜日・3限

【授業の学習内容】

「按摩マツサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律」（あはき法）を主軸に、医療従事者として必要な衛生関係法規、医療法、医薬品医療機器等法、各種医療従事者資格法、社会福祉関係法規、社会保険関係法規を学び理解する。
※鍼灸按摩マッサージ教員免許

【到達目標】

はり師、きゅう師を業とするにあたり、免許に必要な要件や手続きを理解し適切に行うことができる。法令違反となることなく、はり師、きゅう師として活動することができる。医療人として他の医療系職種の資格範囲、業務内容を理解することでチーム医療の場で円滑にコミュニケーションや共同作業ができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	法の体系について理解できる。医療過誤とリスクマネージメント、インフォームドコンセントを理解し説明できる。
2回目	あはき法律制定の目的と免許に関することついて説明ができる。
3回目	業務の独占と業務の範囲、施術に関する注意について理解し実践できる。
4回目	施術所などに関する規則について説明できる。
5回目	施術所の名称制限と広告制限について理解し、何故制限があるのかを説明し、例を挙げることができる。
6回目	業務の停止処分に関する事項を説明することができる。
7回目	無免許営業の取り締まりについて、歴史的な背景を含め理解し処罰の対象となる行為について説明できる。
8回目	学校、養成施設の概要、指定試験（登録機関）の業務と責任について説明できる。
9回目	罰則規定について理解し、内容について説明できる。
10回目	医事法規と医療制度、医療法の概要について説明できる。
11回目	資格法について学び、医療従事者の資格、業務範囲、内容、罰則について説明できる。
12回目	薬事法規、衛生関係法規について説明できる。
13回目	社会福祉関係法規について、法令の種類と概要について説明できる。
14回目	社会保険関係法規について、法令の種類と概要について説明できる。
15回目	復習
準備学習時間外学習	この授業を受け、理解を深めるには授業前までに授業範囲を予習し、読めない字は事前に調べておくことが必要です。予習で分からない所を明確にしておき、授業で確認していくプロセスが必要です。授業後はノートをまとめて知識を整理する習慣を身につけてください。
評価方法	1. 定期試（80%） 2. 平常点（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 授業態度、出席、小テスト、レポート課題などは平常点に含む。
受講生へのメッセージ	将来、業務を開始するにあたり、法規は必ず理解し遵守しなければならないものである。本授業を通してこれを学んでもらいたい。 また、法は禁止・罰則のためだけのものではなく、社会における人の権利、人権を守ることが目的である。 あはき法についてもはり師、きゅう師の業が国家資格を必要とするのは疾病を有するもの等に関し、一定水準の知識及び技能を有するものが行わなければ、人体に危害を及ぼすおそれがあり、わが国の衛生水準の低下を招くこととなる行為が含まれているためであるということを理解し日々の学習にはげんでもらいたい。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：関係法規　第7版　医歯薬出版株式会社

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	社会保障制度と職業倫理（Social Security System andProfessional Ethics）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	遠藤　久子
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	Ⅰ部			（単位）	1	曜日・時限	月曜日・3限

【授業の学習内容】

医療系の職業人として社会に出るにあたり、社会保障の仕組みや職業倫理について改めて考える。
鍼灸師は独立開業権があり、養成校を卒業し免許を取得すれば、免許取得後すぐに開業することができる。
また、平成31年1月からは療養費の受領委任制度も始まり、施術者としてのみならず施術所の経営者としての倫理観が必要とされる。これらの第一歩として、学生として「将来の自分の姿」について、講義とグループディスカッションにより知識と知見を深めることを目的とする。
※鍼灸按摩マッサージ教員免許

【到達目標】

進学・就職・開業等、卒後の自己の姿を想像しながら、社会人として、医療人として、鍼灸師として、患者を通して社会と関わる姿勢を理解できる。我々日本国民が受けることが出来る身近な社会保障制度について復習し、福祉や社会保障制度を受けている患者を理解し、それらが必要な患者がいればアドバイスをすることが出来る。

授業計画・内容	
1回目	社会保障の種類と仕組みをあげることが出来る。(1)
2回目	社会保障の種類と仕組みを説明することが出来る。(2)
3回目	「倫理」「医療倫理」の歴史と変遷についてについて理解できる。
4回目	「倫理」「医療倫理」について説明することが出来る。。
5回目	鍼灸師としての職業倫理について理解できる(1)社会人・医療人として
6回目	鍼灸師としての職業倫理について理解できる(2)は・き師として
7回目	鍼灸師としての職業倫理について理解できる(3)施術所と臨床
8回目	鍼灸師としての職業倫理について理解できる(4)保険制度と受領委任
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習時間外学習	各授業毎に必ず前回の復習をしてください。
評価方法	1. 定期試(80%) 2. 平常点(20%) 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 授業態度、出席、小テスト、レポート課題などは平常点に含む。
受講生へのメッセージ	社会人、職業人として必要な倫理観を身につけ、我々の生活を護る社会保障について学ぶことにより、卒後の業務を適切に行い患者理解や患者へのサポートが出来る様になりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

参考書：関係法規、 医歯薬出版株式会社　　JESC：ずっと使える！鍼灸臨床BOOK
医療概論　医歯薬出版株式会社　　衛生学・公衆衛生学　医歯薬出版株式会社

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	東洋医学概論Ⅲ（Oriental Medicine Introduction Ⅲ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	早野　徳俊
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	1	曜日・時限	木曜日　1限

【授業の学習内容】
東洋医学概論の基礎知識を復習し、臨床応用ならびに平易な言葉で説明をすることができるようになる。
※実務経験：教員養成課程修了。
2003年から臨床に携わり東洋医学療法の一つ「経絡治療」で運動器疾患をはじめ内科婦人科疾患も扱う。

【到達目標】
東洋医学の基礎を理解し、適切な病態把握ができ、それに基づいて治療法も組み立てができるようになる。また、東洋医学的に説明することができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	陰陽学説、五行学説について理解できる。
2回目	生理物質について理解できる。
3回目	肝・胆の生理機能について理解できる。
4回目	心・小腸の生理機能について理解できる。
5回目	脾・胃の生理機能について理解できる。
6回目	肺・大腸の生理機能について理解できる。
7回目	腎・膀胱の生理機能について理解できる。
8回目	病因病機について理解できる。
9回目	四診について理解できる。(1)
10回目	四診について理解できる。(2)
11回目	弁証論治について理解できる。
12回目	八網・気血津液弁証について理解できる。
13回目	臓腑・経絡弁証について理解できる。
14回目	治療原則・治法について理解できる。
15回目	総復習
準備学習時間外学習	1、2年の内容（東洋医学の専門用語）を日常使いしていきましょう。
評価方法	1. 定期試験（80%） 2. 小テスト等（20%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 定期試験80%および小テストを含む平常点20%　で評価します
受講生へのメッセージ	臨床実習を経験しつつ、スムーズに東洋医学的な病態把握、施術方針が決定できるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：東洋医学概論、ずっと使える！鍼灸臨床BOOK　㈱滋慶出版参考資料：配布プリント・練習問題等

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	経絡経穴概論Ⅱ（Outline of Meridians Acupuncture Points Ⅱ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	髙橋　菜摘
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	Ⅰ部				1	曜日・時限	月1限

【授業の学習内容】
1・2年次で学習した内容の総復習、さらに国家試験における経絡経穴概論の出題範囲を学習し、一定水準以上の得点が取れるようにする。
※実務経験
鍼灸教員養成課程修了。

【到達目標】

①十二経脈の分布・流注・走行・接続部位・骨度法を再確認する。
②十二経脈・奇経八脈に所属する取穴部位・解剖学的位置かを再確認する。
③各要穴の特性を再確認する。
④奇穴、経絡・経穴の現代医学研究を再確認する。

授業計画・内容	
1回目	経絡および経穴の概要が理解できる
2回目	十二経脈(肺経・大腸経)の流注・走行・取穴部位が理解できる
3回目	十二経脈(胃経・脾経)の流注・走行・取穴部位が理解できる
4回目	十二経脈(心経・小腸経)の流注・走行・取穴部位が理解できる
5回目	十二経脈(膀胱経・腎経)の流注・走行・取穴部位が理解できる
6回目	十二経脈(心包経・三焦経)の流注・走行・取穴部位が理解できる
7回目	十二経脈(胆経・肝経)の流注・走行・取穴部位が理解できる
8回目	奇経八脈の流注・走行・構成が理解できる
9回目	要穴の意味と経穴の一致が理解できる
10回目	奇穴および組合せ穴が理解できる
11回目	経穴と形態学的特徴が理解できる①
12回目	経穴と形態学的特徴が理解できる②
13回目	経穴現象が理解できる
14回目	総まとめ①
15回目	総まとめ②
準備学習時間外学習	課題も含めて毎回多くの問題を解きますが、経絡・経穴の名称、位置関係がわからなければ苦戦しますので、日々復習をしましょう。 全員、要穴表は完璧にしておいてください。
評価方法	1. 定期試験（70%） 2. 小テスト（20%） 3. 課題成果（10%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 定期試験は100点満点で実施し、70点換算し、小テスト点と課題提出点を合算する。
受講生へのメッセージ	経絡経穴概論の国家試験対策として位置づけした授業を行います。 苦しくなることもあるかと思いますが、とにかく覚えて、使うことができれば、問題を解くスピードもどんどん上がりますよ。 国家試験の後半科目を強化して、少しでも乗り越えやすくしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
新版経絡経穴概論(医道の日本社)
配布プリント

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	鍼灸診断学Ⅱ (Acupuncture and Moxibustion Pathognomy Ⅱ)	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	伊藤昌幸
学科	鍼灸科	授業形態	実習	総時間（単位）	90	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部				3	曜日・時限	火曜1限

【授業の学習内容】

1・2年生で履修した「東洋医学概論」「東洋医学臨床論」を臨床の現場で応用する。患者から情報収集・分析を行い、臓腑機能などがどのような状態になっていて、症状が出ているのかを理解する。

実務者経験：教員養成科終了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院を開業し臨床に携わる。

【到達目標】

病態把握ができるようになる。
病態把握に基づいた治療方針を組み立てることが出来る。
治療方針に基づいて、適切な経穴を選択することが出来る。
適切な補瀉手技を選択することが出来る。

授業計画・内容			
1回目	八綱弁証について理解できる。	16回目	原穴診について理解できる。
2回目	気血津液弁証について理解できる。	17回目	醒脳開竅法の理論を理解することできる。
3回目	臓腑弁証(肝・胆)について理解できる。	18回目	吸玉療法の理論を理解することできる。
4回目	臓腑弁証(心・小腸)について理解できる。	19回目	刺絡療法の理論を理解することが出来る。
5回目	臓腑弁証(脾・胃)について理解できる。	20回目	総合演習①
6回目	臓腑弁証(肺・大腸)について理解できる。	21回目	総合演習②
7回目	臓腑弁証(腎・膀胱)について理解できる。	22回目	総合演習③
8回目	望診について理解できる。①	23回目	まとめ
9回目	望診について理解できる。②		
10回目	望診について理解できる。③		
11回目	舌診について理解できる。①		
12回目	舌診について理解できる。②		
13回目	腹診について理解できる。①		
14回目	腹診について理解できる。②		
15回目	背部兪穴の切診について理解できる。		

準備学習時間外学習	情報収集、分析、治療方針決定という流れがスムーズに行うためには、情報量が必要です。しっかりと「東洋医学概論」「東洋医学臨床論」のわからない部分をまず認識し、それが説明できるように学習を行ってください。		
評価方法	・平常点（20%） ・期末試験（筆記）（80%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	①平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物の期限・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を越える場合は、さらに減点していく。 ②期末試験は筆記試験を行う。 ③成績は①+②の合計とする。
受講生へのメッセージ	患者の訴える症状を緩和・なくすことが出来ると、「ありがとう」といってくれます。人から感謝されることはとてもうれしいことです。これを体感できる施術者になりましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
新版東洋医学概論　医道の日本社
新版東洋医学臨床論　南江堂
配布資料

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	鍼灸診断学Ⅱ（Acupuncture and Moxibustion Pathognomy Ⅱ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	池田　晋太郎
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	90	開講区分	後期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	3	曜日・時限	火曜 1限

【授業の内容】
鍼灸治療では患者に問診を行い、身体診察を行い、証を立て治療を行う。
3年次に実施される臨床実習においても、先ず一般診療が基本であり、一般診療に関する基本的能力を備えることが求められる。鍼灸治療に必要な西洋医学的診察法・東洋医学的診察法を学び、適切な施術を行うための判断力を診察法・施術・効果判定と一連の流れを症例検討を通して学んでいく。
※実務経験：鍼灸教員養成課程修了
鍼灸整骨院にて鍼灸治療に従事し、また登録販売者として医薬品の提案・販売業務にも携わる。

【到達目標】
鍼灸臨床の流れを理解し、四診・各種検査、弁証論治、施術、予後の予測や効果判定などを自分なりの考えを持ち行えるようにする。
＜具体的な目標＞
①患者の状態を正確に把握することができる。
②患者の持つ愁訴が鍼灸適応症例なのか不適応症例なのかの病態鑑別を適切に鑑別できるようにする。
③鍼灸適応症であると判断された場合の弁証論治、施術、予後の予測や効果判定が適切にできるようにする。

授業計画・内容			
1回目	西洋医学的な鍼灸臨床の流れを理解することができる。	16回目	循環器科領域における臨床推論が理解・実践できる。
2回目	東洋医学的な鍼灸臨床の流れを理解することができる。	17回目	腎・泌尿器科領域における臨床推論が理解・実践できる。
3回目	疾患に対する評価法について理解することができる①	18回目	（産）婦人科領域における臨床推論が理解・実践できる。
4回目	疾患に対する評価法について理解することができる②	19回目	心理・精神科領域における臨床推論が理解・実践できる。
5回目	東洋医学的な治則・治法について理解できる。	20回目	小児科領域における臨床推論が理解・実践できる。
6回目	整形外科領域における臨床推論が理解・実践できる①	21回目	高齢者疾患領域における臨床推論が理解・実践できる。
7回目	整形外科領域における臨床推論が理解・実践できる②	22回目	症例問題演習を通して、要点整理をすることができる①
8回目	整形外科領域における臨床推論が理解・実践できる③	23回目	症例問題演習を通して、要点整理をすることができる②
9回目	整形外科領域における臨床推論が理解・実践できる④		
10回目	整形外科領域における臨床推論が理解・実践できる⑤		
11回目	神経科領域における臨床推論が理解・実践できる①		
12回目	神経科領域における臨床推論が理解・実践できる②		
13回目	総合内科領域における臨床推論が理解・実践できる。		
14回目	消化器科領域における臨床推論が理解・実践できる。		
15回目	呼吸器科領域における臨床推論が理解・実践できる。		

準備学習時間外学習	1・2年次に学習した内容（講義・実習）の知識や技術を総合して授業を行うため、自身の課題を見つけ必要な単元の予習・復習を予め率先して行う。		
評価方法	1. 定期試験（80%） 2. 小テスト（10%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（10%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	定期試験および小テスト・課題提出などの平常点も加味する。
受講生へのメッセージ	最終学年において卒後必要となる臨床能力を確保するため実習を含めながら鍼灸臨床に必要な事項を学んでいく。いくら治療技術が備わっていても正しい診察法・鑑別方法を身に付けていないと、患者に対して満足のいく鍼灸治療を行うことはできません。また臨床に対する姿勢は成績のためではなく、患者のためであり、一人の患者にしっかり向き合えるための臨床能力を身に付けてください。		

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：ずっと使える！鍼灸臨床BOOK（株）滋慶出版、臨床医学各論・臨床医学総論（医歯薬出版株式会社）
新版東洋医学概論・新版経絡経穴概論（医道の日本社）
配布物：プリント

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	社会はりきゅう学 (Acupuncture and Moxibustion Sociology)	必修選択	必修	年次	3	担当教員	早野　徳俊
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	2	曜日・時限	木曜日　1限

【授業の学習内容】
社会はりきゅう学は社会の健康課題に対して鍼灸などの東洋療法を活用し、いかに貢献すべきかを学ぶ分野である。この授業では施術者として社会的ニーズの多様化に適切に対応できる能力を身につけることを目的としている。
※実務経験：教員養成課程修了。
2003年から臨床に携わり東洋医学療法の一つ「経絡治療」で運動器疾患をはじめ内科婦人科疾患も扱う。

【到達目標】
社会的ニーズに適切に対応できる能力を身につける。
①治療院開業の手続きを理解する。
②介護保険制度について理解する。
③あはき法について理解する。
④医療関係の法律について理解する。

授業計画・内容	
1回目	現代社会のにおける医療制度について理解できる①
2回目	現代社会のにおける医療制度について理解できる②
3回目	現代社会のにおける医療制度について理解できる③
4回目	地域でのはりきゅうの役割について理解できる①
5回目	地域でのはりきゅうの役割について理解できる②
6回目	地域でのはりきゅうの役割について理解できる③
7回目	現代社会におけるはりきゅうの役割について理解できる①
8回目	現代社会におけるはりきゅうの役割について理解できる②
9回目	現代社会におけるはりきゅうの役割について理解できる③
10回目	現代社会におけるはりきゅうの役割について理解できる④
11回目	施術所開設・出張施術について理解できる
12回目	施術所と周囲の環境との関係性について理解できる
13回目	施術者に求められるもの提供できるものについて理解できる
14回目	総復習①
15回目	総復習②
準備学習時間外学習	病院を受診したり、はりきゅう院で施術を受るなど、身近な経験からも学ぶ機会、学んだことを活かす機会をもってみ
評価方法	1. 定期試験（80%） 2. 小テスト等（20%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 定期試験80%および小テストを含む平常点20%　で評価します
受講生へのメッセージ	国家試験出題範囲（医療概論・関係法規など）も内容も含まれていますので、しっかり予習・復習をお願いします。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：社会あはき学、関係法規、医療概論、公衆衛生学参考資料：プリント

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	はり実技 Ⅲ（Acupunctaure Practical Skills Ⅲ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	伊藤昌幸
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1	開講区分	後期
コース	Ⅰ部					曜日・時限	金曜1限

【授業の学習内容】
鍼灸臨床において経験することが多い疾患・病態について東洋医学的な治療法を学び、適切に施術を行うことができる。
東洋医学臨床論にリンクして各疾患に対する治療法と考え方について学ぶ。

実務者経験：教員養成科終了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院を開業し臨床に携わる。

【到達目標】
東洋医学概論・東洋医学臨床論で学んだ知識を臨床に活かすことができるようになる。弁証論治により導きだした経穴を組合せ（処方）を自分で考えるようになる。
処方がどのような意味で構成されているか、またどのような治療目的を果たすのかが理解できる。病態の変化に応じて処方の組合せを変化させることができる。
各症例問題を通じて、考え方を身につける。

授業計画・内容	
1回目	補瀉に対しての知識を理解し、手技が実践できるようになる。
2回目	疼痛に対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
3回目	気滞に対しての東洋医学的な診断・治療ができるようになる。
4回目	病理産物（痰湿・瘀血）に対しての東洋医学的な診断・治療ができるようになる。
5回目	不眠に対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
6回目	勃起障害に対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
7回目	ストレスに対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
8回目	肩こりに対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
9回目	井穴に対する施術ができるようになる。
10回目	華佗夾脊法を施術できるようになる。
11回目	醒脳開竅法を施術できるようになる。
12回目	吸玉療法を施術できるようになる。
13回目	期末試験①
14回目	期末試験②
15回目	解説
準備学習時間外学習	東洋医学の生理観を復習し、病態によってどのような症状が出現するかを理解する。 経絡流注の走行、経穴の位置を覚えておく。
評価方法	・平常点（20%） ・期末試験（実技）（80%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 ①平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物の期限・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を越える場合は、さらに減点していく。 ②期末試験は実技試験を行う。 ③成績は①+②の合計とする。
受講生へのメッセージ	卒業後、現場に出ても冷静に患者を診れるようにしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：新版経絡経穴概論、東洋医学r概論、新版東洋医学臨床論
配布資料

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	きゅう実技 Ⅲ Moxibustion Practical Skills Ⅲ	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	伊藤昌幸
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	Ⅰ部			（単位）	1	曜日・時限	金曜2限

【授業の学習内容】
鍼灸臨床において経験することが多い疾患・病態について東洋医学的な治療法を学び、適切に施術を行うことができる。
東洋医学臨床論にリンクして各疾患に対する治療法と考え方について学ぶ。

実務者経験：教員養成科終了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院を開業し臨床に携わる。

【到達目標】
東洋医学概論・東洋医学臨床論で学んだ知識を臨床に活かすことができるようになる。弁証論治により導きだした経穴を組合せ（処方）を自分で考えるようになる。
処方がどのような意味で構成されているか、またどのような治療目的を果たすのかが理解できる。病態の変化に応じて処方の組合せを変化させることができる。
各症例問題を通じて、考え方を身につける。

授業計画・内容	
1回目	補瀉に対しての知識を理解し、手技が実践できるようになる。
2回目	疼痛に対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
3回目	気滞に対しての東洋医学的な診断・治療ができるようになる。
4回目	病理産物（痰湿・瘀血）に対しての東洋医学的な診断・治療ができるようになる。
5回目	不眠に対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
6回目	勃起障害に対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
7回目	ストレスに対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
8回目	肩こりに対しての東洋医学的な病態把握・診断・治療ができるようになる。
9回目	井穴に対する施術ができるようになる。
10回目	華佗夾脊法を施術できるようになる。
11回目	醒脳開竅法を施術できるようになる。
12回目	吸玉療法を施術できるようになる。
13回目	期末試験①
14回目	期末試験②
15回目	解説
準備学習 時間外学習	
評価方法	・平常点（20%） ・期末試験（実技）（80%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 ①平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物の期限・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を越える場合は、さらに減点していく。 ②期末試験は実技試験を行う。 ③成績は①+②の合計とする。
受講生への メッセージ	卒業後、現場に出ても冷静に患者を診れるようにしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：新版経絡経穴概論、東洋医学r概論、新版東洋医学臨床論
配布資料

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	臨床実習Ⅱ（Clinical Practice Ⅱ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	岸本 優介
学科	鍼灸科	授業形態	実習	総時間（単位）	90	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部				2	曜日・時限	金曜日 ・2限

【授業の学習内容】

臨床上遭遇しやすい整形外科疾患やスポーツ疾患を鑑別し、適切な検査および評価などについて正しく理解した上で、治療ポイントの選択、刺激量の調節、さらに正しい衛生概念を持った施術の基礎実技を実習するとともに、学生同士による基礎技術の反復練習を行う。長期的・短期的治療方針と施術ポイントと施術手技など、自分で考える力を身につける実習を行う。
※実務者経験：大学院（鍼灸学博士前期（修士）課程修了）大学院では、整形外科分野における臨床鍼灸学を専攻し、臨床・研究を行っていた。また、大学病院内(整形外来・病棟)での鍼灸施術および運動機能特化型デイサービスでの機能訓練指導などの臨床に関わる。

【到達目標】

①治療目的、治療効果、生活上の改善点を含めた治療部位の選択、患者に見合った刺激量の調節と安全な手技の習得を目標とする。
②解剖・生理学・治効学などの知識をもとにして、身体各部への安全かつ効果的な刺鍼・施灸手技の習得を目標とする。
③患者の体格・年齢・性別や症状あるいは部位により、適切な手技を選ぶことについて考え、さらに自分の施鍼・施灸が患者にどのように感じられているのかを考えながら、刺激量の調節を習得することを目標とする。
④患者の訴えや症状から治療・予後の判定へとつなげた一連の施術、あるいは医療機関への引き継ぎの要不要を、総合的に行える力を習得する。

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション、臨床実習Ⅱの進め方	16回目	腰痛・腰下肢痛のまとめ①。
2回目	頸肩腕痛①に対して効果的な施術が実践できる	17回目	腰痛・腰下肢痛のまとめ②。
3回目	頸肩腕痛②に対して効果的な施術が実践できる。	18回目	股関節痛に対して効果的な施術が実践できる。
4回目	頸肩腕痛③に対して効果的な施術が実践できる。	19回目	膝関節痛に対して効果的な施術が実践できる。
5回目	肩痛に対して効果的な施術が実践できる。	20回目	下肢痛①に対して効果的な施術が実践できる。
6回目	上肢痛①に対して効果的な施術が実践できる。	21回目	下肢痛②に対して効果的な施術が実践できる。
7回目	上肢痛②に対して効果的な施術が実践できる。	22回目	股・膝関節、下肢痛のまとめ①。
8回目	上肢痛③に対して効果的な施術が実践できる。	23回目	股・膝関節、下肢痛のまとめ②。
9回目	神経痛に対して効果的な施術が実践できる。		
10回目	頸肩腕痛(上肢痛・神経痛も含む)のまとめ①。		
11回目	頸肩腕痛(上肢痛・神経痛も含む)のまとめ②。		
12回目	腰痛①に対して効果的な施術が実践できる。		
13回目	腰痛②に対して効果的な施術が実践できる。		
14回目	腰下肢痛①に対して効果的な施術が実践できる。		
15回目	腰下肢痛②に対して効果的な施術が実践できる。		

準備学習時間外学習	1年次、2年次に学習し、習得した知識、技術が全て必要となります。各学生において、準備することは異なるかと思いますが、十分な事前学習（復習）が必須。		
評価方法	1. 定期試験 2. レポート 3. 課題成果 4. 実地試験	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	認定実技試験をもって判断する。 平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・小テスト・提出物・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を越える場合は、さらに減点していく。
受講生へのメッセージ	最終学年において、卒後必要となる臨床能力を確保するため実習を含めながら鍼灸臨床に必要な事項を学んでいく。また、この時間を通して、1年・2年で学んだ内容を個々の科目としてではなく、包括的に復習し、学習が足りないと思うところは補い、臨床に必要な基礎能力を身につけて下さい。		

【使用教科書・教材・参考書】
＊配布資料を中心に授業を行います。
＊教科書：はりきゅう理論、経絡経穴学、臨床各論、東洋医学臨床論、リハビリテーション医学　東洋療法学校協会編
＊その他：自分に必要と思われるもの(例：ハーフパンツ、参考書など)。

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	臨床実習Ⅱ（ Clinical Practice Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	髙橋　菜摘
学科	鍼灸科	授業形態	実習	総時間	90	開講区分	前期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	2	曜日・時限	金曜　3限

【授業の学習内容】

1、2年で学んだことをもとに、西洋医学的な診察、東洋医学的診察の流れを講義、実習を通して実践する力を身につける。
臨床でよくみられる疾患に対して、病態把握から治療法までの流れを自ら考え、実践する。
実務経験:鍼灸教員養成課程修了

【到達目標】

自身が得た情報から患者の愁訴の原因を推測し、治療方針、治療方法について考え施術を行うことができる。
①患者から必要な情報を得ることにより、愁訴等の本質を読み解き、具体的な状況を西洋医学的・東洋医学的に判断する。
②患者から得た情報や四診の意義、意味を理解し、適切な治療を行うことができる。
③愁訴や患者の予後に対し、適切な治療の目的、方針や施術内容を組み立て実践することができる。
④施術効果について判断し、経過や予後等について説明することができる。

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション、実習の進め方	16回目	精神科の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる①
2回目	消化器系の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる①	17回目	精神科の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる②
3回目	消化器系の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる②	18回目	精神科の疾患まとめ 〈症例〉
4回目	消化器系の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる③	19回目	臨床における症例に対して自ら考え効果的な施術が実践でき
5回目	消化器系の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる④	20回目	臨床における症例に対して自ら考え効果的な施術が実践でき
6回目	消化器系の疾患まとめ 〈症例〉	21回目	臨床における症例に対して自ら考え効果的な施術が実践でき
7回目	呼吸器系の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる①	22回目	臨床における症例に対して自ら考え効果的な施術が実践でき
8回目	呼吸器系の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる②	23回目	総まとめ
9回目	呼吸器系の疾患まとめ 〈症例〉		
10回目	婦人科系の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる①		
11回目	婦人科系の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる②		
12回目	婦人科系の疾患まとめ 〈症例〉		
13回目	頭顔面部の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる①		
14回目	頭顔面部の疾患に対して自ら考え効果的な施術が実践できる②		
15回目	頭顔面部の疾患まとめ 〈症例〉		

準備学習時間外学習	1、2年で学んだ西洋医学的な診察、東洋医学的な診察をよく復習しておくこと。 疾患について、診察法や配穴など、自らが治療するイメージする力をつけておいてください。		
評価方法	1. 認定実技試験（80%） 2. 平常点（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	認定実技試験をもって判断する。 平常点（欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物・授業態度）は減点方式で計算。 減点が20点を超える場合でもさらに減点していく。
受講生へのメッセージ	最終学年において、卒後必要となる臨床能力を確保するため実習を含めながら鍼灸臨床に必要な事項を学んでいく機会です。 疾患や症例について、自分ならどのようにして治療にあたるか。をイメージしながら進めていきましょう。方法はたくさんあります。 治療方針も十人十色。皆さんがどのように考えているのか、教えてください。実践してみましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
参考書:経絡経穴概論・解剖学・臨床各論・東洋医学臨床論・JESC:ずっと使える!鍼灸臨床BOOK
課題等の配布プリント

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名 (英)	臨床実習Ⅲ (　Clinical PracticeⅢ　)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	池田 晋太郎・中里 亮太・髙橋 菜摘 (臨床実習指導者)
学科	鍼灸科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 1	開講区分	前期
コース	昼間　Ⅰ部					曜日・時限	火曜　3限

【授業の学習内容】

鍼灸臨床に関わる施設を見学、附属鍼灸院での臨床実習を行うことにより、現場力を身につける。

実務者経験
池田：鍼灸教員養成課程修了。鍼灸整骨院にて鍼灸治療に従事し、また登録販売者として医薬品の提案・販売業務にも携わる。
中里：鍼灸教員養成課程修了。鍼灸養成校の附属鍼灸院にて2年間・教員養成校在学中、鍼灸接骨院にて2年間従事。
髙橋：鍼灸教員養成課程修了。

【到達目標】

鍼灸臨床の流れを理解し、適切に行うことができる。
＜具体的な目標＞
目標①医療人として常識的な立ち居振る舞い、言葉遣いができる。
目標②患者との適切なコミュニケーションを図ることができる。
目標③各種身体検査の意義、意味を知り、適切に行うことができる。
目標④カルテ記載に必要な項目の意味を学習し、聴取することができる。
目標⑤①～④までを総合し治療を行える。
目標⑥社会人としての一般常識を身につけ、現場での適切なコミュニケーションをはかることができる。

授業計画・内容			
1回目	臨床実習オリエンテーションと目標設定	16回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。
2回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。	17回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。
3回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。	18回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。
4回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。	19回目	症例報告の方法を理解・実践できる①
5回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。	20回目	症例報告の方法を理解・実践できる②
6回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。	21回目	症例報告を行い、学びを共有し、今後の鍼灸臨床につなげることができる①
7回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。	22回目	症例報告を行い、学びを共有し、今後の鍼灸臨床につなげることができる②
8回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。	23回目	症例報告を行い、学びを共有し、今後の鍼灸臨床につなげることができる③
9回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。		
10回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。		
11回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。		
12回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。		
13回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。		
14回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。		
15回目	鍼灸施術所における臨床実習を通し、現場で必要なコミュニケーション力・現場力を身に付け、与えられた課題を実践することができる。		

準備学習 時間外学習	この授業には、3年間学んだすべての科目の知識・技術が必要となることから、自身で課題を見つけ必要な予習・復習を行って臨むこと。

評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（20%） 4. 課題成果（80%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	臨床実習施設・指導者のもと、実際の業務を経験・見学する。

受講生への メッセージ	最終学年において、卒後必要となる臨床能力を確保するため実習を含めながら鍼灸臨床および現場に必要な事項を学んでいく。 卒業後には臨床現場に立つ一鍼灸師として、この実習を通し主体的に現場経験を吸収し、そこから得られた自身が目指す鍼灸師像を確立させてください。

【使用教科書・教材・参考書】
ずっと使える!鍼灸臨床BOOK:（滋慶出版）、その他適宜必要な書籍・資料など

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	総合医学特論Ⅲ（ Holistic Medical TheoryⅢ ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	小泉　直子
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	2	曜日・時限	水曜日　1限

【授業の学習内容】
人体の基本的な構造と機能の中から、内部環境の維持・調節の仕組みと恒常性の維持の仕組みを復習する。
人体の構造と機能で身体をコントロールする仕組みは主に神経系と内分泌系が担っている。そのうち、内分泌系を中心に自律神経や免疫について理解を深める。

※鍼灸按摩マッサージ教員免許

【到達目標】
内分泌系の特徴や組織、器官、作用、標的器官などについて説明することができる。また、ホルモンの分泌異常により生じる主な疾患についてその名称や症状を想起することができる。

授業計画・内容	
1回目	ニューロンと神経膠細胞、神経核と神経節とは何か、神経線維の太さ、自律神経の概要、特徴、節前・節後ニューロンを説明できるようにする
2回目	交感神経の解剖と機能、白交通枝・灰白交通枝、副交感神経の解剖と機能を説明できるようにする
3回目	副交感神経の解剖と機能、交感神経と副交感神経の神経伝達物質と受容体を説明できるようにする
4回目	自律神経型の中枢と自律神経反射を説明できるようにする
5回目	ホルモンの特徴と化学的性質、作用機序、分泌の調節、視床下部ホルモンと下垂体ホルモンを説明できるようにする
6回目	甲状腺と甲状腺ホルモンを説明できるようにする
7回目	副甲状腺（上皮小体）とカルシウム代謝、膵島（ランゲルハンス島）ホルモンと糖代謝を説明できるようにする
8回目	副腎髄質ホルモンと糖質コルチコイドを説明できるようにする
9回目	電解質コルチコイドとアンドロゲンを説明できるようにする
10回目	卵巣のホルモンと性周期、胎盤のホルモンを説明できるようにする
11回目	心臓のホルモン、脂肪細胞のホルモン、消化管ホルモン、腎臓のホルモンを説明できるようにする
12回目	非特異的生体防御機構、特異的生体防御機構について説明できるようにする
13回目	特異的生体防御機構について説明できるようにする
14回目	アレルギー反応、体温について説明できるようにする
15回目	からだのリズム変化と睡眠について説明できるようにする
準備学習時間外学習	神経の構造と機能、内分泌と外分泌の違いなどの、解剖学・生理学の基本を復習してきて下さい。また、授業当日に復習をして、内容を理解するようにして下さい。
評価方法	1. 定期試験（80%） 2. 小テスト（20%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	自律神経と内分泌は、不随意で身体をコントロールしています。そのため、わかりにくいことも多いと思いますが、点と点のままでなく、繋げて理解をしていくことが重要です。繋げるための基本（点）をしっかりと復習しておいて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】
解剖学　医歯薬出版株式会社、生理学　医歯薬出版株式会社、解剖生理学　メヂカルフレンド社
適宜、必要と思われるもの。

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	西洋医学特論Ⅰ（ Western Medical Theory Ⅰ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	小泉　直子 岸本　優介
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	2	曜日・時限	水曜日　1・3限

【授業の学習内容】
基礎医学から臨床医学を考えることにより、暗記で症状を覚えるなどを避け、疾患や症状の理解をすることが、鍼灸師として携われるかどうかを判断する必要な知識となります。状況によっては速やかに医療機関へ送るなどの処置ができるようにしていく。
※鍼灸按摩マッサージ教員免許
岸本：大学院（鍼灸学博士前期（修士）課程修了）大学院では、整形外科分野における臨床鍼灸学を専攻し、臨床・研究を行っていた。また、大学病院内(整形外来・病棟)での鍼灸施術および運動機能特化型デイサービスでの機能訓練指導などの臨床に関わる。

【到達目標】
臨床では様々な疾患を持つ患者が来院する事が多い。このような患者に対して、習得した知識を元に、患者と接した際に必要な対応ができるようにする。

授業計画・内容			
1回目	関節リウマチ、全身性エリテマトーデスを説明できるようにする	16回目	認知症を説明できるようにする
2回目	全身性硬化症、ベーチェット病を説明できるようにする	17回目	重症筋無力症、進行性筋ジストロフィーを説明できるようにする
3回目	皮膚筋炎、多発動脈炎を説明できるようにする	18回目	筋萎縮性側索硬化症、ギランバレー症候群を説明できるようにする
4回目	食物アレルギー、血清病、薬物アレルギーを説明できるようにする	19回目	圧迫性および絞扼性ニューロパシーを説明できるようにする
5回目	花粉症、シェーグレン症候群を説明できるようにす	20回目	神経痛、機能性疾患を説明できるようにする
6回目	線維筋痛症、慢性疲労症候群を説明できるようにする	21回目	関節疾患、骨代謝性疾患・骨腫瘍を説明できるようにする
7回目	先天性免疫不全症、医原性免疫不全症を説明できるようにする	22回目	筋・腱疾患、形態異常、脊椎疾患を説明できるようにする
8回目	脳梗塞、脳出血を説明できるようにする	23回目	脊髄損傷、外傷、その他の整形外科疾患を説明できるようにする
9回目	脳出血、頭蓋内圧亢進を説明できるようにする	24回目	心臓疾患、冠動脈疾患を説明できるようにする
10回目	髄膜炎、神経梅毒、プリオン病を説明できるようにする	25回目	動脈疾患、血圧異常を説明できるようにする
11回目	ポリオ、脳腫瘍、てんかんを説明できるようにする	26回目	赤血球疾患、白血球疾患を説明できるようにする
12回目	脳腫瘍、脊髄腫瘍を説明できるようにする	27回目	リンパ網内系疾患、出血性素因を説明できるようにする
13回目	パーキンソン病、ハンチントン舞踏病を説明できるようにする	28回目	リハビリテーションと障害について説明できるようにする
14回目	脳性小児麻痺、ウィルソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症を説明できるようにする	29回目	各疾患のリハビリテーションについて説明できるようにする
15回目	脊髄小脳変性症、脊髄空洞症、進行性核上性麻痺を説明できるようにする	30回目	運動のしくみについて説明できるようにする

準備学習時間外学習	この授業を受けるには、解剖学、生理学、病理学などの基礎医学の理解が必要です。これらの予習を行い授業に臨むようにして下さい。また、理解を深めるために、復習を欠かさないで下さい。
評価方法	1. 定期試験（100%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 卒業試験をもって判断する。
受講生へのメッセージ	鍼灸師が接する患者さんの中には、内臓疾患や重度の神経疾患等の病気を持っている方もいらっしゃいます。このような方々は自分の病気に詳しいことも多いですが、さらに様々な質問もしてきます。病気を知ることによって、どこまで鍼灸師として関われるかを見極める能力を養って下さい。

【使用教科書・教材・参考書】
臨床医学各論教科書、臨床医学各論追加資料、解剖学教科書、生理学教科書、、配布プリント

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	西洋医学特論Ⅱ（ Western Medical Theory Ⅱ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	中里　亮太
学科	鍼灸科	授業形態	講義実習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	Ⅰ部				2	曜日・時限	水曜日 3限

【授業の学習内容】

解剖学、生理学、リハビリテーション医学を中心に、主に基礎医学の復習を徹底して総合的な理解を深める。
国家試験の過去問や、模試などを通じて問題の読解に慣れながら力を付ける。

【到達目標】

学内の卒業試験や国家試験の合格するための基礎力、応用力を身に着ける。

授業計画・内容	
1回目	生理学の基礎の要点を復習する。
2回目	循環の要点を復習する。
3回目	血液の要点を復習する。
4回目	呼吸の要点を復習する。
5回目	消化吸収の要点を復習する。
6回目	体温の要点を復習する。
7回目	代謝の要点を復習する。
8回目	内分泌の要点を復習する。
9回目	排泄の要点を復習する。
10回目	生殖の要点を復習する。
11回目	中枢神経の要点を復習する。
12回目	末梢神経の要点を復習する。
13回目	筋(生理学)の要点を復習する。
14回目	筋（解剖学）の要点を復習する。
15回目	免疫学の要点を復習する。
準備学習時間外学習	授業の時間内のみですべての範囲を復習することはとても大変です。課題等を予めよく準備しておくようにしてください。

評価方法			
	1. 定期試験（100%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	卒業試験をもって判断する。

受講生へのメッセージ	国家試験の合格には理解が欠かせない教科です。分かるまで伝えます。必ず合格しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書とこれまでに学習したノートやプリントなど。

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	西洋医学特論Ⅱ（ Western Medical TheoryⅡ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	早野　徳俊
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	2	曜日・時限	木曜日　2限

【授業の学習内容】
解剖学、生理学、リハビリテーション医学を中心に、主に基礎医学の復習を徹底して総合的な理解を深める。国家試験の過去問や、模試な
どを通じて苦手分野の理解を深める。
※実務経験：教員養成課程修了。
2003年から臨床に携わり東洋医学療法の一つ「経絡治療」で運動器疾患をはじめ内科婦人科疾患も扱う。

【到達目標】
学内の卒業試験や国家試験を突破するための基礎力、応用力を身に着ける。（出題傾向と項目の確認および必要な知識を咀嚼する）

授業計画・内容	
1回目	泌尿器（腎臓）の理解を深める
2回目	泌尿器（膀胱）の理解を深める
3回目	生殖器の理解を深める
4回目	感覚（中枢神経・末梢神経）の理解を深める
5回目	体性感覚・内臓感覚の理解を深める
6回目	特殊感覚の理解を深める
7回目	特殊感覚の理解を深める
8回目	リハビリテーション医学の総論を復習
9回目	リハビリテーションに必要な評価を復習
10回目	医学的リハビリテーションに必要なチームアップを確認
11回目	疾患別リハビリテーションを復習①
12回目	疾患別リハビリテーションを復習②
13回目	疾患別リハビリテーションを復習③
14回目	疾患別リハビリテーションを復習④
15回目	運動のしくみを復習
準備学習時間外学習	学んだことを理解・定着させるため復習をよく行うこと。 問題演習などを通して自分の理解が進んでない部分をしっかりと見直し、解き直すこと。
評価方法	1. 定期試験（80%） 2. 小テスト等（20%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 定期試験80%および小テストを含む平常点20%　で評価します
受講生へのメッセージ	基礎を疎かにできませんし、その基礎をもって応用が成り立ちます。繰り返しが多くなりますが集中していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：教科書：東洋療法学校協会編：　解剖学、生理学　（医歯薬出版株式会社）,土井信之他著：リハビリテーション医学第4版．医歯薬出版
参考書：落合慈之監修：リハビリテーションビジュアルブック第2版．学研メディカル秀潤社

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	東洋医学特論Ⅰ（Oriental Medical Theory Ⅰ）	必修選択	必修	年次	3	担当教員	池田　晋太郎
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間　Ⅰ部			（単位）	1	曜日・時限	月曜　2限

【授業の学習内容】

施術者として鍼灸治療を行うにあたり、様々な疾患に対応した力が求められる。
この授業では、疾患に対して現代医学的観点または東洋医学的観点から各々の特徴を捉え、知識を養っていく。

※実務経験
鍼灸教員養成課程修了。
鍼灸整骨院にて鍼灸治療に従事し、また登録販売者として医薬品の提案・販売業務にも携わる。

【到達目標】

今まで学習した東洋医学の知識を統合させ、国家試験問題に対応できる力と、鍼灸臨床に役立てることができる知識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	鍼灸臨床における現代医学的治療原則について理解し、国家試験問題を解くことができる。
2回目	鍼灸臨床における東洋医学的治療原則について理解し、国家試験問題を解くことができる。
3回目	全身症候の分野に対する鍼灸治療について理解し、国家試験問題を解くことができる。
4回目	呼吸器疾患・循環器疾患領域の分野に対する鍼灸治療について理解し、国家試験問題を解くことができる。
5回目	消化器疾患領域の分野に対する鍼灸治療について理解し、国家試験問題を解くことができる。
6回目	腎・泌尿器疾患領域の分野に対する鍼灸治療について理解し、国家試験問題を解くことができる。
7回目	代謝・内分泌・自己免疫疾患領域の分野に対する鍼灸治療について理解し、国家試験問題を解くことができる。
8回目	精神心理・感覚器疾患領域の分野に対する鍼灸治療について理解し、国家試験問題を解くことができる。
9回目	（産）婦人科・小児疾患・高齢者領域の分野に対する鍼灸治療について理解し、国家試験問題を解くことができる。
10回目	神経系疾患領域の分野に対する鍼灸治療について理解し、国家試験問題を解くことができる。
11回目	運動器疾患領域の分野に対する鍼灸治療について理解し、国家試験問題を解くことができる。
12回目	鍼術・灸術における基礎知識と術式について理解し、国家試験問題を解くことができる。
13回目	鍼術・灸術における臨床応用とリスク管理について理解し、国家試験問題を解くことができる。
14回目	鍼術・灸術における治効基礎について理解し、国家試験問題を解くことができる。
15回目	鍼療法・灸療法における治効理論について理解し、国家試験問題を解くことができる。
準備学習時間外学習	1・2年次に学習した東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論、はりきゅう理論を中心に復習をしっかり行う。
評価方法	1. 定期試験（100%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 卒業試験を持って判断する。
受講生へのメッセージ	この授業では、主に東洋医学臨床論とはりきゅう理論の国家試験対策を行います。 東洋系科目以外にも、現代系科目（解剖学・臨床医学総論・臨床医学各論）の知識が必須になります。範囲は膨大ではありますが、鍼灸臨床にも活かせるように、一つ一つ学習した内容を整理していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：新版東洋医学概論（医道の日本社）
新版経絡経穴概論（医道の日本社）
東洋医学臨床論　はりきゅう編（医道の日本社）

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	東洋医学特論Ⅱ（Oriental Medical TheoryⅡ）	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	伊藤昌幸
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1	開講区分	後期
コース	Ⅰ部					曜日・時限	水曜2限

【授業の学習内容】
国家試験に向けて、1・2年時の東洋医学を理解する。それによって、「東洋医学概論」「東洋医学臨床論」の範囲が理解できるようになる。

実務者経験：教員養成科終了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院を開業し臨床に携わる。

【到達目標】
①東洋医学の生理観・病理観が理解できる。
②病態把握が理解できる。
③弁証論治が理解できる。

授業計画・内容	
1回目	生理物質について理解できる。①
2回目	生理物質について理解できる。②
3回目	生理物質について理解できる。③
4回目	肝・胆の生理、病理について理解できる。
5回目	心・小腸の生理、病理について理解できる。
6回目	脾・胃の生理、病理について理解できる。
7回目	肺・大腸の生理、病理について理解できる。
8回目	腎・膀胱の生理、病理について理解できる。
9回目	臓腑の相互関係について理解できる。
10回目	十二経脈、奇経八脈について理解できる。
11回目	病因病機について理解できる。
12回目	四診について理解できる。①
13回目	四診について理解できる。②
14回目	弁証論治について理解できる。
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	1・2年次の内容を具体的に計画を立てて、復習してください。
評価方法	・卒業試験 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 卒業試験をもって判断する。
受講生へのメッセージ	国家試験に向けて、知識を蓄えましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：新版東洋医学概論　医道の日本社
参考資料：プリント等

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名 (英)	臨床医学特論Ⅰ (Clinical Medicine Theory	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	遠藤　久子
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部				1	曜日・時限	月曜日　2・3限

【授業の学習内容】

施術者として必要な社会的コンプライアンス、臨床における診断学、疾患の基礎を学ぶ。基礎医学から疾患や症状の理解をすることで、鍼灸師として携われるかどうかを判断することが出来るようになる。状況によっては速やかに医療機関へ送るなどの処置ができるようにしていきます。

※鍼灸按摩マッサージ師教員免許

【到達目標】

臨床では様々な疾患を持つ患者が来院する。このような患者に対して、習得した知識を元に、患者と接した際に必要な対応ができるようし、はり師、きゅう師として勤務または開業した際に守るべき意識・態度・社会性を修得する。

【具体的な到達目標】

授業計画・内容	
1回目	医療概論　医療人としての心構えとICの歴史
2回目	はり師、きゅう師が守るべき法律と医療・医療従事者に関する法律
3回目	臨床診断学復習（1）　診断診察学一般事項
4回目	臨床診断学復習（2）　生命徴候
5回目	臨床診断学復習（3）　全身の診察
6回目	臨床診断学復習（4）　局所の診察
7回目	臨床診断学復習（5）　局所の診察
8回目	臨床診断学復習（6）　よくある症状とそれに関係する疾患
9回目	検査法と検査値
10回目	病因論（1）
11回目	病因論（2）
12回目	腫瘍と内分泌、栄養・代謝疾患（1）
13回目	腫瘍と内分泌、栄養・代謝疾患（2）
14回目	炎症と免疫
15回目	創傷の治癒と病理学総論
準備学習 時間外学習	この授業を受けるには、解剖学、生理学、病理学などの基礎医学の理解が必要です。これらの予習を行い授業に臨むようにして下さい。また、理解を深めるために、復習を欠かさないで下さい。
評価 方法	1. 定期試験 2. 小テスト 3. レポート 4. 課題成果 5. 実地試験 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 卒業試験をもって判断する。
受講生へのメッセージ	鍼灸師としてコンプライアンスとホスピタリティをもって、臨床に臨み精度の高い診察・評価をすることができるようになりましょう。接する患者さんの中には、自身の経験や家族・知人の罹患経験から病気に詳しいこともあります。さらに様々な質問もしてきます。病気を知ることによって、どこまで鍼灸師として関われるかを見極める能力を養って下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

臨床医学各論教科書、臨床医学各論追加資料、解剖学教科書、生理学教科書、入門解剖人体解剖学、医療概論教科書

名古屋医健スポーツ専門学校　2024年度 シラバス

科目名（英）	臨床医学特論Ⅱ（Clinical Medicine Theory	必修選択	必修	年次	3	担当教員	杉本 佳史
学科	鍼灸科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			（単位）	1	曜日・時限	火曜日・2限

【授業の学習内容】

基礎医学から臨床医学を考えることによりまだ見ぬ患者像を理解し、疾患を把握することで、適切な治療や対応へと導く力を養う。この勉強内容がそのまま、国家試験対策にも繋がっていく。

※実務者経験：：大学院（鍼灸学博士後期課程修了） 鍼灸学（博士）
大学病院・大学附属鍼灸院・老人保健施設・特別養護高齢者施設・専門学校附属鍼灸院・コエル鍼灸院にて臨床に従事。
地域医療に関するワークショップ、研究、教育、講演、臨床、国家試験対策講義を通じて鍼灸の普及に務めている。

【到達目標】

臨床では様々な疾患を持つ患者が来院する事が多い。このような患者に対して、習得した知識を元に、患者と接した際に必要な対応ができるようにする。
［具体的な到達目標］
目標①それぞれの疾患に対して説明ができるようにする。
目標②それぞれの疾患を持つ患者に対して、より愛護的に接することができるようにする。
目表③国家試験の問題から要点を整理し結果へとつなげる。

授業計画・内容	
1回目	はじめに 国家試験の傾向と対策 出題基準について 消化器疾患
2回目	食道疾患 要点整理 練習問題
3回目	食道疾患 要点整理 練習問題
4回目	胃疾患 要点整理 練習問題
5回目	胃疾患 要点整理 練習問題
6回目	腸疾患 要点整理 練習問題
7回目	腸疾患 要点整理 練習問題
8回目	肝疾患 要点整理 練習問題
9回目	肝疾患 要点整理 練習問題
10回目	胆道・膵臓疾患 要点整理 練習問題
11回目	胆道・膵臓疾患 要点整理 練習問題
12回目	腎臓疾患 要点整理 練習問題
13回目	腎臓疾患 要点整理 練習問題
14回目	泌尿生殖器疾患 要点整理 練習問題
15回目	泌尿生殖器疾患 要点整理 練習問題
準備学習時間外学習	臨床医学を学ぶうえで、解剖学、生理学、病理学などの基礎医学の理解が必要になってきます。都度、わからないところは基礎にかえって土台を固めることを繰り返してください。
評価方法	1. 定期試験 2. 小テスト 3. レポート 4. 課題成果 5. 実地試験 評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格 卒業試験をもって判断する。
受講生へのメッセージ	疾患を把握しておくことで、患者様からの信頼感を得ることができます。試験のための勉強だけではなく、患者像を思い浮かべて学習することで、忘れにくくなります。なぜその疾患が起こるのかを意識して何回も反復学習していくことで身についていきます。 誰もができるようになる科目ですので、慌てず、焦らず、一歩一歩着実に前進してください

【使用教科書・教材・参考書】

臨床医学各論教科書、臨床医学各論追加資料、解剖学教科書、生理学教科書、配布プリント